



# 静岡市 いきもの 散策マップ

## 樽峠コース

### とり・どうぶつ

#### ● シジュウカラ



全長 15 cm くらいで、背と頭のほかに胸のまん中も黒くなります。山地から里や人家のまわりに1年中見られます。

#### ● オオルリ



全長 17 cm くらいで、繁殖のため、春に東日本に渡ってきます。雄の背中や尾も含めがけ尺のある青色をしています。

#### ● コゲラ



全長 15 cm くらいで、小型のキツツキで、「ギー、ギー」と鳴きます。木の皮の下の虫をついて食べます。

#### ● ソウシチョウ 特 特定外来生物



スズメ大の外来生物で、姿も声もしいのですが、日本の鳥が追いやられる恐れがあります。問題となっています。

#### ● ヤマガラ



全長 13~15 cm くらいで、背と腹がレンガ色をしています。「ツツピー、ツツピー」と鳴きます。

#### ● メジロ



全長 12 cm くらいで、からだの上面はやや暗めの黄緑色で、眼のまわりは白色、胸は黄色になります。

#### ● キセキレイ



全長 20 cm くらいで、腹部に黄色がまじります。主に山地の川沿いで1年中見られます。

#### ● ヒガシニホントカゲ



山地から低地の日当たりのよいところに生息し、小さな虫やクモなどを餌にします。幼体は青色で、成体は褐色です。

#### ● ジョウビタキ



全長 14 cm くらいで、翼は黒褐色でまん中あたりに白い斑紋があります。本州では冬に見られます。

#### ● ホオジロ



全長 17 cm くらいで、オスは高い木の上で「チョッピ、チチュ、チュチュリチュー」と鳴きます。

#### ● セグロセキレイ



全長 21 cm くらいで、頭から背中にかけて黒色です。主に水辺で1年中見られます。

#### ● ヒダサンショウウオ



山地の川にすむ 18 cm くらいのサンショウウオです。紫がかった体色に、黄色の斑点模様があります。

#### ● カヤクグリ



スズメと同じくらいで、夏は、ハイマツ帯などの高山で繁殖し、冬には低地に移動します。「ヒリヒリチリリリ」と鳴きます。

#### ● ミソサザイ



スズメより小さい鳥で、主に山地の谷沿いにすんでいます。「ビビビ、チュイ、チュイ」または、「チャッチャ」と鳴きます。

#### ● カケス



全長 33 cm くらいで、山地の林に1年中すんでいます。雑食で、主に昆虫や果実を食べます。

#### ● タゴガエル



体長 4~5 cm くらいのアカガエルの仲間。沢や水の湧き出しの崖などに卵を産みます。

### アクセス情報



- 【バスでのアクセス】
1. 興津駅前バス停留所、但沼中央方面乗場より、しずてつバス「三保山の手線」に乗車。
  2. 「但沼車庫前」にて下車（清水駅より約 34 分）。
  3. 「但沼車庫前」大平・板井沢方面乗場より、両河内線に乗車。
  4. 「板井沢」にて下車（但沼車庫より約 30 分）。
  5. 「板井沢」より、徒歩約 40 分で樽峠登山口入口。

### 緊急連絡先

- ・静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- ・消防 119 番
- ・警察 110 番

### 注意事項

- ・ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装、水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- ・里山には、ハチ、ヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹、花や山菜などを無断で取らないでください。
- ・動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク  
 発行者：静岡市環境創造課  
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号  
 TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666  
 制作年：平成 27 年 2 月

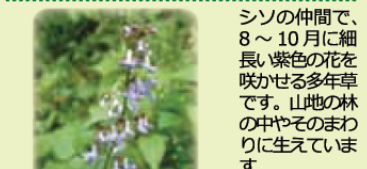
### しょくぶつ

#### ● キランソウ



シソの仲間。道に生えていて、3~5月に紫色の花を咲かせます。

#### ● セキヤノアキチョウジ



シソの仲間。8~10月に細長い紫色の花を咲かせる多年草です。山地の林の中やそのまわりに生えています。

#### ● ホタルブクロ



キキョウの仲間。釣鐘のような形をした桃色の花を6~7月に咲かせます。草原や山地に生えています。

#### ● ムラサキケマン



ケシの仲間。草地や林のまわりに生えています。4~6月に赤紫色の花を咲かせます。

#### ● ヒメミヤマスミレ



おもに落葉樹の林に生えています。5月に白色の花を咲かせます。

#### ● ヒガンバナ



秋のお彼岸の頃に赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い葉は冬の間だけ見られます。

#### ● タチツボスミレ



よく見られるスミレの仲間。葉は丸みのあるハート型で、花はうすい青色です。

#### ● ギンリョウソウ



全体が白く、ユウレイケともいいます。土の中のキノコのような部分に寄生しています。

#### ● ハナネコノメ



ユキノシタの仲間。3~4月に小さな白い花を咲かせます。山地の谷筋の湿ったところで見られます。

#### ● アセビ



小さな木で、4~5月に白色のツボ型の花をつけます。毒性の高い植物で、シカも葉を食べません。

#### ● シモバシラ



シソの仲間。10月に白い花をたくさん咲かせます。冬には根から吸い上げられた水分が枯れた茎を包むように凍って氷柱となります。

#### ● ヤマアジサイ



谷すじで見ることが多いアジサイです。6~7月に、たくさんの小さな花と、その周りに大きな花を咲かせます。

### むし

#### ● クマバチ



体長 2 cm を超えるミツバチの仲間。黄色の胸部以外は、はなもめ黒く、ずんぐりとしています。初夏から秋に見られます。

#### ● コカマキリ



体長は 5~6 cm ほどの小型のカマキリで、かまのあしの内側に白と黒の斑点があります。シジミチョウの仲間などの昆虫を餌とします。

#### ● オオスズメバチ 要注意



日本最大のスズメバチで、日本のバチでは最も強い毒をもちます。大きな木の根元や土の中などに巣を作ります。

#### ● ササキリ



体長 20 mm くらいで、南方系のキリギリスの仲間。林の中やそのまわりの草むらにすんでいます。昼間に「ジリジリ」と鳴きます。

#### ● コガタスズメバチ 要注意



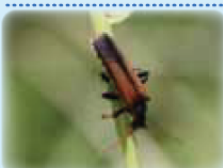
オオスズメバチに似て大きく、働きバチが 27 mm くらいになります。初期の巣は逆さまにした徳利型ですが、やがて球形となります。

#### ● アキアカネ



代表的なアカトンボです。田んぼなどで初夏に羽化し、夏の間は高い山に移動し、秋には里におりてきます。

#### ● ジョウカイボン



体長 2 cm くらいになる甲虫の仲間です。成虫は花に来ることもありますが、他の昆虫を捕らえて食べる肉食性です。

#### ● ホソミオツネトンボ



水草の多い池に見られる中型のイトトンボの仲間です。成虫で冬を越す(越冬: オツネ)のでこの名前がついています。

### むし

#### ● アオスジアゲハ



黒地のほねに水色の筋があり、とても速く飛ぶアゲハチョウの仲間です。幼虫はクスノキの葉を食べて育ちます。

#### ● ウラギンシジミ



ほねの裏側が銀色のやや大きなシジミチョウの仲間。ほねの先が尖っています。初夏と秋に発生し、成虫で越冬します。

#### ● アサギマダラ



大型のチョウで、フワフワと飛びます。春に南から北の山地へ、夏には北から南の低地へ2世代で移動します。

#### ● コフキゾウムシ



淡い緑色の粉がふいているように見える小型のゾウムシの仲間です。クス、ハギなどのマメの仲間の葉を食べます。

### メモ

しずおか みんなの  
しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう  検索

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)

